

NY マーケットレポート (2014年10月7日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がないことから新規材料に乏しく、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となった。その後、IMF が世界全体の経済成長率見通しを下方修正したことを受けて、世界景気の先行き懸念から欧米の株価が大きく下落となり、リスク回避の動きが強まったことから、安全資産とされる円を買う動きが優勢となった。円は主要 16 通貨の大半に対して上昇する動きとなった。また、逃避的に米国債が買われたことで、米長期債利回りが低下となり、日米の金利差縮小が意識されたことも円買いの要因となった。ドル/円は、終盤に 9 月 17 日以来の 107 円台まで下げる場面もあった。

2014/10/7 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	108.52	109.24	108.39
EUR/JPY	137.16	137.76	136.87
GBP/JPY	174.59	175.15	174.38
AUD/JPY	95.42	95.56	95.22
EUR/USD	1.2639	1.2665	1.2605

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	108.78	108.39
EUR/JPY	137.22	136.70
GBP/JPY	174.76	174.22
AUD/JPY	95.53	95.26
EUR/USD	1.2665	1.2584

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15783.83	-107.12
ハンセン指数	23422.52	+107.48
上海総合	休 場	
韓国総合指数	1972.91	+4.52
豪ASX200	5284.20	-8.71
インドSENSEX指数	26271.97	-296.02
シンガポールST指数	3243.99	-9.25

*中国市場は国慶節のため休場

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6495.58	-68.07
仏CAC40	4209.14	-77.38
独DAX	9086.21	-123.30
ST欧州600	330.85	-5.15
西IBEX35指数	10430.70	-215.00
伊FTSE MIB指数	19771.71	-348.02
南ア 全株指数	48712.40	

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	108.04	108.63	107.82
EUR/JPY	136.82	137.01	136.56
GBP/JPY	173.88	174.65	173.70
AUD/JPY	95.21	95.58	95.10
NZD/JPY	84.64	85.17	84.55
EUR/USD	1.2666	1.2683	1.2603
AUD/USD	0.8812	0.8833	0.8794

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16719.39	-272.52
S&P500	1935.09	-29.73
NASDAQ	4385.20	-69.60
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14576.45	-166.67
🇧🇷 ボルサ指数	44536.62	-284.23
🇨🇵 ボベスパ指数	57436.33	+320.43

10/8 経済指標スケジュール

08:01	【英】9月BRC店頭価格指数
08:50	【日】8月経常収支
08:50	【日】8月貿易収支
10:45	【中】9月HSBC非製造業PMI
13:30	【日】9月企業倒産件数
14:00	【日】10月日銀・金融経済月報
14:00	【日】9月景気ウォッチャー調査
14:45	【スイス】9月失業率
15:30	【仏】9月企業センチメント指数
20:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
21:15	【カナダ】9月住宅着工件数
21:10	【ポーランド】政策金利(時間不確定)
03:00	【米】FOMC議事録公表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1212.40	+5.10
NY 原油	88.85	-1.49
CMEコーン	340.50	+8.00
CBOT 大豆	940.75	-1.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.51%	0.53%
3年債	0.95%	0.99%
5年債	1.63%	1.69%
7年債	2.05%	2.13%
10年債	2.35%	2.42%
30年債	3.05%	3.12%

10/8 主要会議・講演・その他予定

・欧州議会本会議 (～9日)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 108.55 ユーロ/円 136.88 ユーロ/ドル 1.2612

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

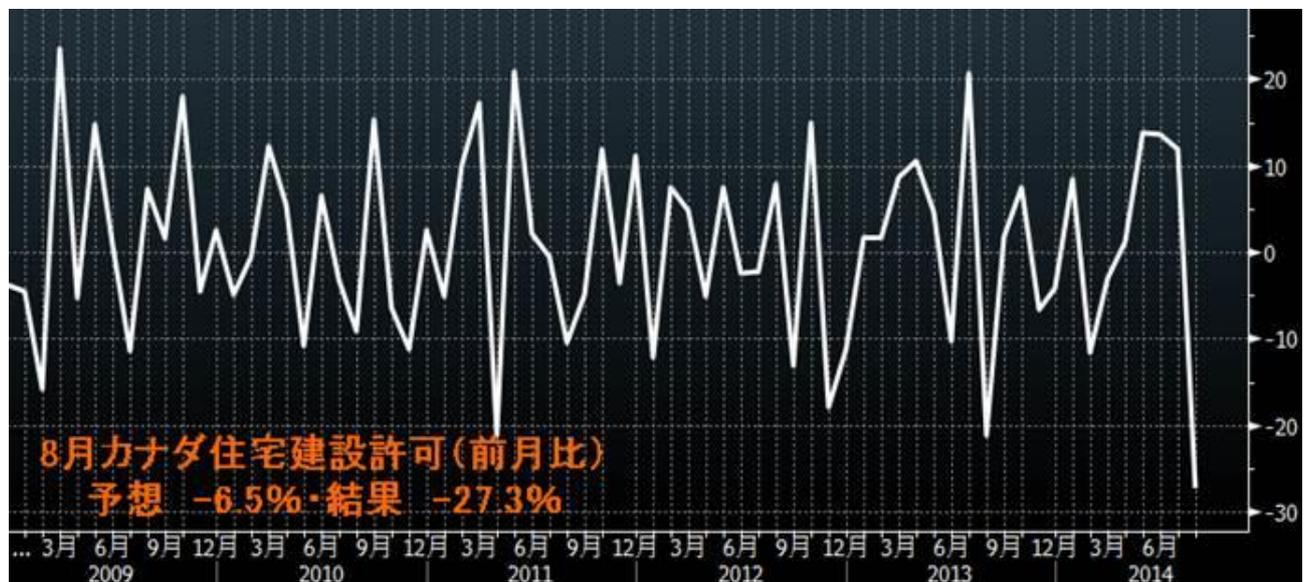
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6525.34	-38.31	ダウ INDEX FUTURE	16844	-59
仏 CAC40	4235.66	-50.86	S&P500 FUTURE	1949.30	-6.70
独 DAX	9125.44	-84.07	NASDAQ FUTURE	3993.50	-13.50

(出所:SBILM)

21:30

<< 経済指標の結果 >>

8月カナダ住宅建設許可(前月比) -27.3% (予想 -6.5%・前回 11.6%)
 前回発表の 11.8%から 11.6%に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所: ネットダニアー)

22:00

IMF が最新の世界経済見通しを発表

- ・「ECB はソブリン債購入などさらなる行動の心積もりを」
- ・「金融市場がリスクを過小評価している可能性を懸念」
- ・「世界成長見通しは下方修正、ユーロ圏、ロシアなど不振で」
- ・「世界見通しへの下振れリスク、4月以降高まった」
- ・「2015年の世界成長率 3.8%に（7月予想 4%）下方修正」
- ・「2015年のユーロ圏成長率は 1.3%に（7月予想 1.5%）下方修正」
- ・「2015年の米成長率は 3.1%に（7月予想 3%）上方修正」
- ・「2015年の日本成長率は 0.8%に（7月予想 1.1%）下方修正」
- ・「2015年の中国成長率予想は、7.1%に据え置き」
- ・「2015年ロシア成長率 0.5%に（7月予想 1%）下方修正」
- ・「主要中銀は極めて緩和的な姿勢を維持すると想定」
- ・「中東は、ウクライナの混乱で地政学的リスク高まる」
- ・「米FRBが2015年下期の早い時期に利上げと予想」
- ・「一部株価には「泡立ち」の兆候も、修正リスク高まる」

22:05

◀ 要人発言 ▶
ルー米財務長官

- ・「強いドルは米国にとって良いことだと確信」

22:33

米主要株価

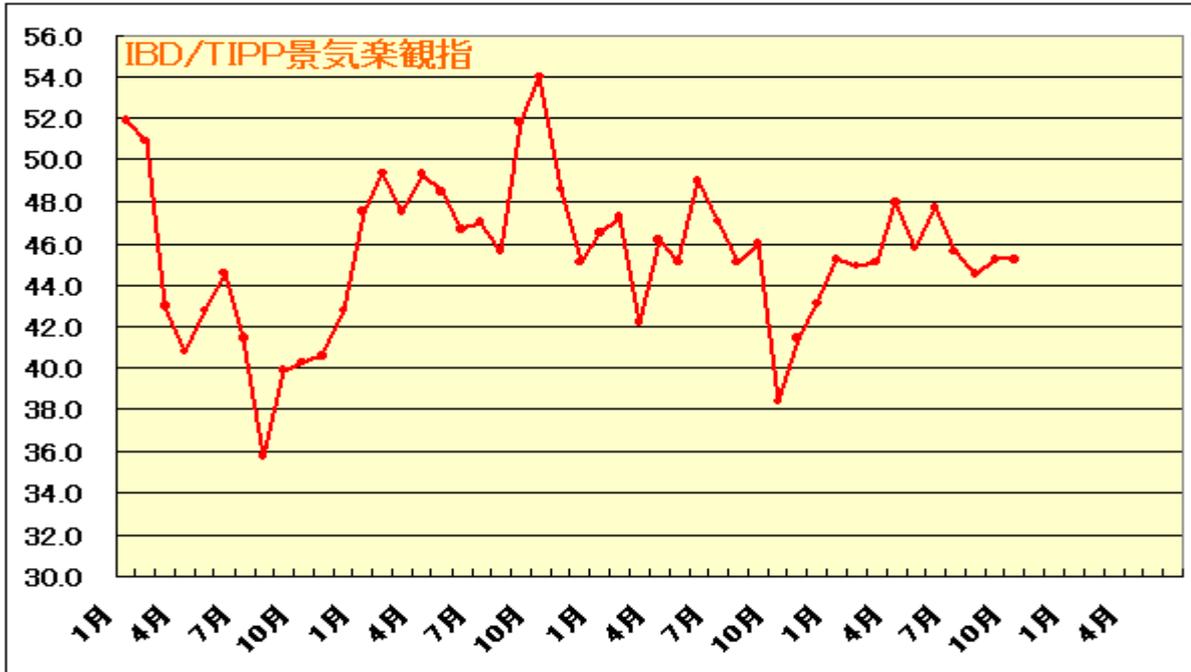
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16857.12	-134.79
ナスダック	4418.29	-36.51

(出所: SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 45.2 (予想 45.1・前回 45.2)

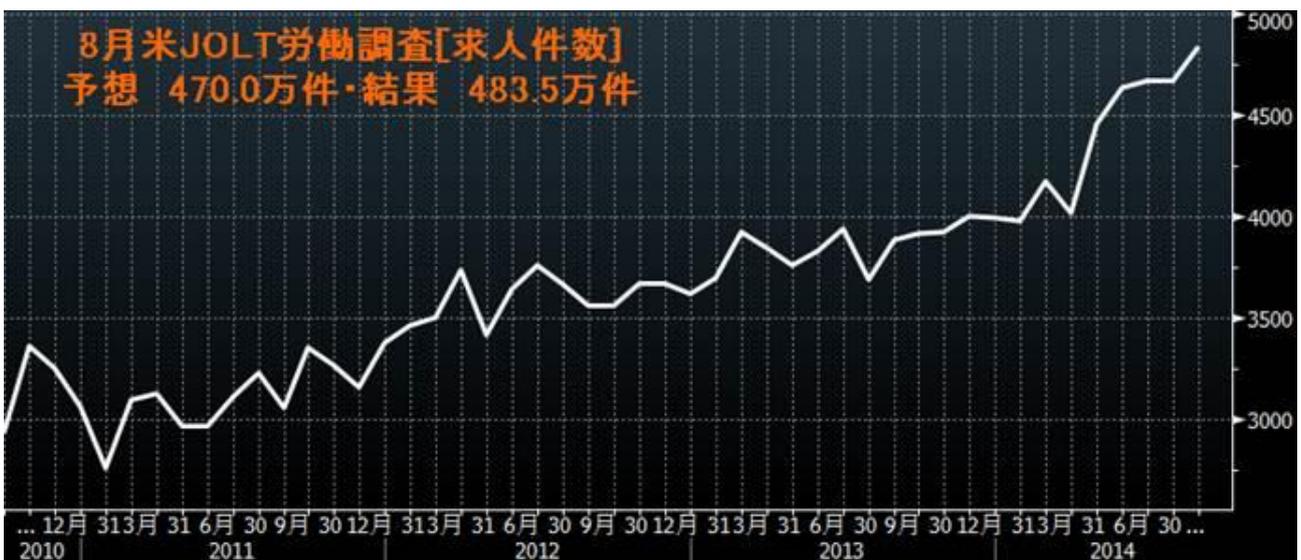


(出所:SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米 JOLT 労働調査[求人件数] 483.5万件 (予想 470.0万件・前回 460.5万件)
 前回発表の467.3万件から460.5万件に修正



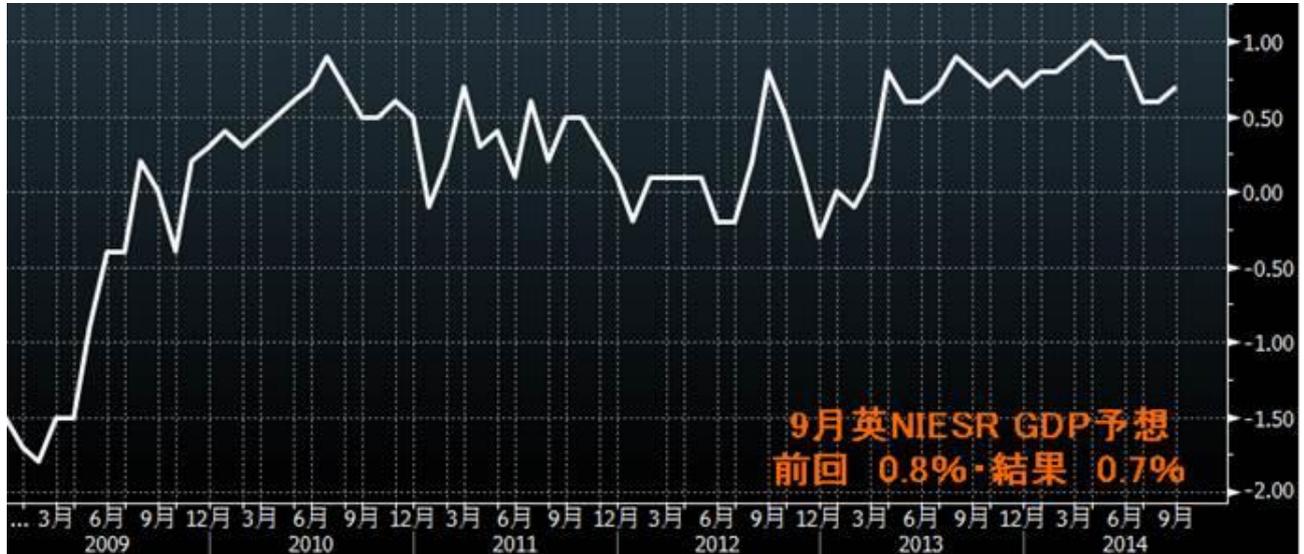
(出所:ブルームバーグ)

23:00

＜ 経済指標の結果 ＞

9月英 NIESR GDP 予想 0.7% (前回 0.8%)

前回発表の 0.6% から 0.8% に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

＜ IBD/TIPP 景気楽観指数 ＞

10月・9月・8月・7月・6月・5月・4月

景気楽観指数・・・45.2・45.2・44.5・45.6・47.7・45.8・48.0

半年先の景気先行・・・44.6・42.8・41.8・41.6・45.6・43.1・45.7

資金繰り見通し・・・52.5・54.5・54.3・54.7・56.8・55.5・58.2

政府の政策信頼度・・・38.5・38.3・37.5・40.4・40.6・38.9・40.2

23:30

＜ NY 株式市場 序盤 ＞

序盤の株式市場は、欧州経済の先行き不透明感を背景に、欧州主要株価が下落したことを受けて、売りが先行した。その後は、割安となった銘柄を買う動きも出てやや値を戻している。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 162 ドル高まで下落したものの、その後は 80 ドル安近辺まで下げ幅を縮小している。

＜ 経済指標のポイント ＞

(1) 10月の米 IBD/TIPP 経済楽観指数は、45.2 と前月から横ばいとなった。節目の 50 は 24 ヶ月連続で下回った。半年先の景気先行は 44.6 (前回 42.8) となり、3 ヶ月連続で上昇。資金繰り見通しは 52.5 (54.5)、政府の政策信頼度は 38.5 (38.3) と 2 ヶ月連続で上昇となった。50 を上回ると楽観的と判断する。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目されている。

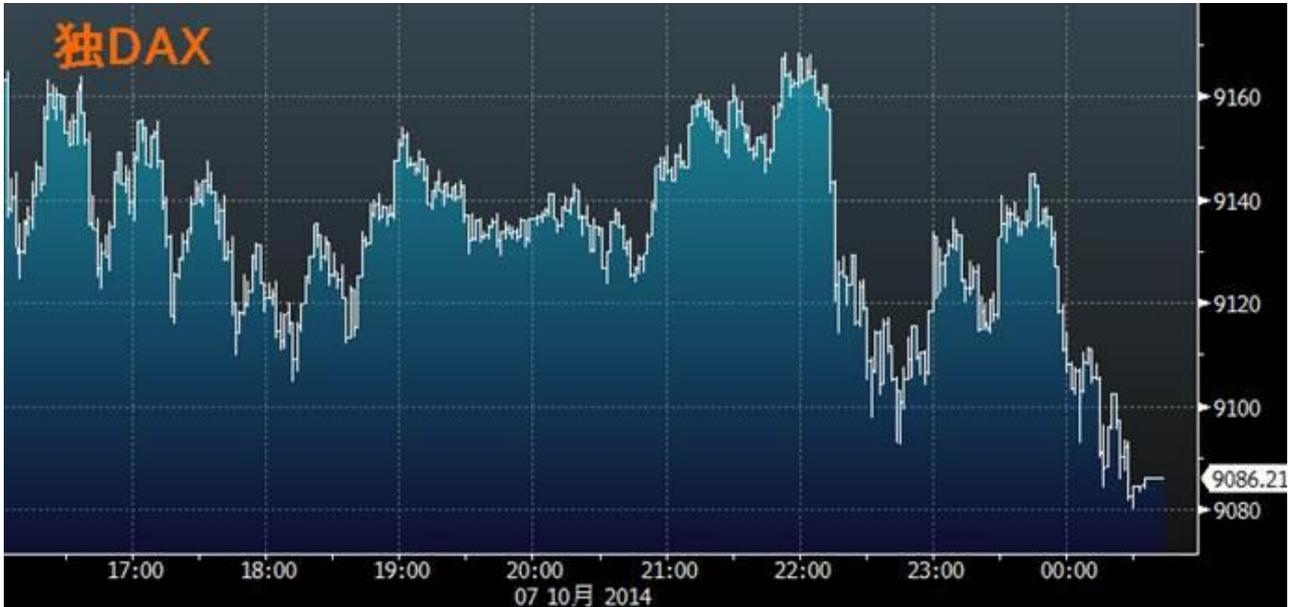
(2) 米労働省が発表した 8 月の求人労働異動調査「JOLTS」によると、求人数は 483 万 5000 件と、前月の 460 万 5000 件から増加し、2001 年 1 月以来の高水準となった。雇用と解雇が減少し、離職も減った。JOLTS 調査は、イエレン FRB 議長を含む FRB 高官が金融政策運営にあたり注目している指標の 1 つ。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6495.58	-68.07
仏 CAC40	4209.14	-77.38
独 DAX	9086.21	-123.30
ストック欧州 600 指数	330.85	-5.15
ユーロファースト 300 指数	1329.76	-20.40
スペイン IBEX35 指数	10430.70	-215.00
イタリア FTSE MIB 指数	19771.71	-348.02
南ア アフリカ全株指数	48712.45	-453.75

(出所:SBILM)

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、ドイツの経済指標が大幅に悪化したことで、欧州経済の先行きに警戒感が広がったことや、スペインでエボラ出血熱の感染が確認されたことも懸念材料となり、主要株価は大きく下落した。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16864.59 (-127.32)、 S&P500 1951.47 (-13.35)、 ナスダック 4428.00 (-26.80)

＜ NY 債券市場 ・午前＞

序盤のニューヨーク債券市場は、IMF が今年と来年の世界全体の経済成長率見通しを引き下げたことや、ドイツの鉱工業生産指数が市場予想以上に落ち込んだことなどを手掛かりに世界の景気先行きへの懸念が強まり、株などを売って安全資産とされる米国債に資金を避難させる動きが先行した。

午前の利回りは、30年債が3.10%（前日3.13%）、10年債が2.39%（2.42%）、7年債が2.10%（2.13%）、5年債が1.66%（1.69%）、3年債が0.97%（0.99%）、2年債が0.51%（0.53%）。

＜欧州のポイント＞

①フランスのサパン財務相は、財政赤字削減目標の未達を理由にフランスの予算案を拒否する権限はEUにはないと述べた。フランスの予算案をめぐるのは、ユーロ圏当局者が、10月末に欧州委員会が承認しない公算が大きく、修正案を求める見通しだと報道されていた。サパン財務相は、この報道について「誤っている」と指摘。予算案を拒否することは「欧州委員会の権限には含まれていない」と述べた。

「欧州委は、フランスや他国の予算を批判したり、拒否したりすることはできない。ありがたいことに、われわれの民主主義において、それを可決・否決したり、批判したりすることができる唯一の場所は当該国の議会のみだ」と指摘した。また、10月半ばから11月半ばの間にユーロ圏諸国の間で財政問題に関する協議が行われることを明らかにした。

②ギリシャの財務相は、欧州委員会、IMF、ECBの合同調査団（トロイカ）がギリシャ当局者らとの意見の相違が原因で金融支援に関する審査を中断したとする報道を否定した。報道では、トロイカが未解決の問題についてギリシャ側と何の合意もできなかったために予定よりも1日早く審査を打ち切ったとしている。関係筋によると、調査団はワシントンで開催されるIMF・世界銀行年次総会に出席するためにギリシャを離れる予定だった。ギリシャ財務省の当局者は、調査団は欧州の銀行ストレステスト（健全性審査）の結果が発表されてからアテネに戻る予定だとした。

2:00

＜米財務省3年債入札＞

最高落札利回り・・・0.994%（前回 1.066%）

最低落札利回り・・・0.890%（前回 0.950%）

最高利回り落札比率・・・73.69%（前回 20.66%）

応札倍率・・・3.42倍（前回 3.17倍）

《ポイント》

米EIA（エネルギー情報局）は、月報で2014年と2015年の原油価格見通しを、生産拡大と需要減少を理由に引き下げた。月報の短期エネルギー見通しでは、WTI（ウェスト・テキサス・インターミディエート）の価格は2015年に平均で1バレル=94.58ドル（9月時点では94.67ドル）。北海ブレントについても、来年の価格予想を103ドルから101.67ドルに引き下げた。

EIAは、今年の原油生産を日量854万バレル、2015年を950万バレルと予測。昨年の745万バレルから増え、2015年は1970年以來の高水準に達する。2014年の予想は9月の月報から1万バレル上方修正され、2015年は3万バレル引き下げられた。

今年のWTI価格見通しは平均で97.72ドル（9月時点98.28ドル）と下方修正された。北海ブレントの平均価格は今年104.42ドルになると予想（先月時点では106ドル）。

3:20

《 要人発言 》

コチャラコタ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「2015年の利上げは不適切、物価安定で」
- ・「PCE価格指数は、2018年より前の2%回帰はない」

3:30

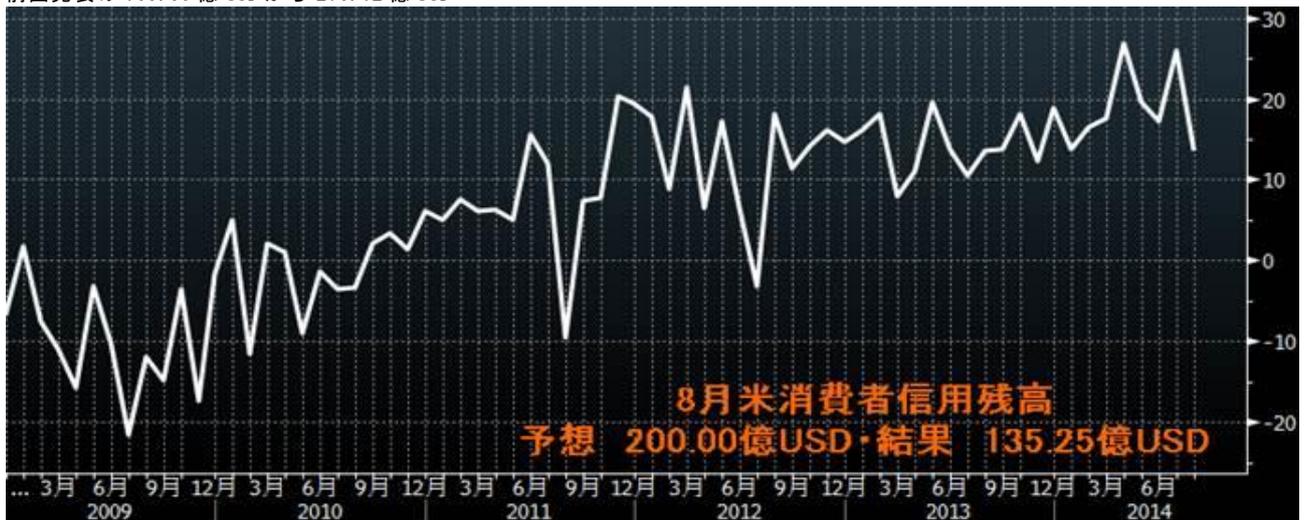
NY金は、中心限月が前日比5.10ドル高の1オンス=1212.40ドルで取引を終了した。

4:00

《 経済指標の結果 》

8月米消費者信用残高 135.25億USD（予想 200.00億USD・前回 2614.12億USD）

前回発表の160.06億USDから216.12億USD



(出所:ブルームバーグ)

4:05

《 要人発言 》

ダドリー・NY連銀総裁

- ・「2015年半ばの利上げ予想は妥当な見解」
- ・「雇用市場には活用されていないリソースが多量にある」
- ・「強いドルは景気の上振れ余地を限定する」
- ・「強いドルは恐らく米国への信託を反映」
- ・「強いドルと海外の弱い成長が物価を抑制も」

4:30

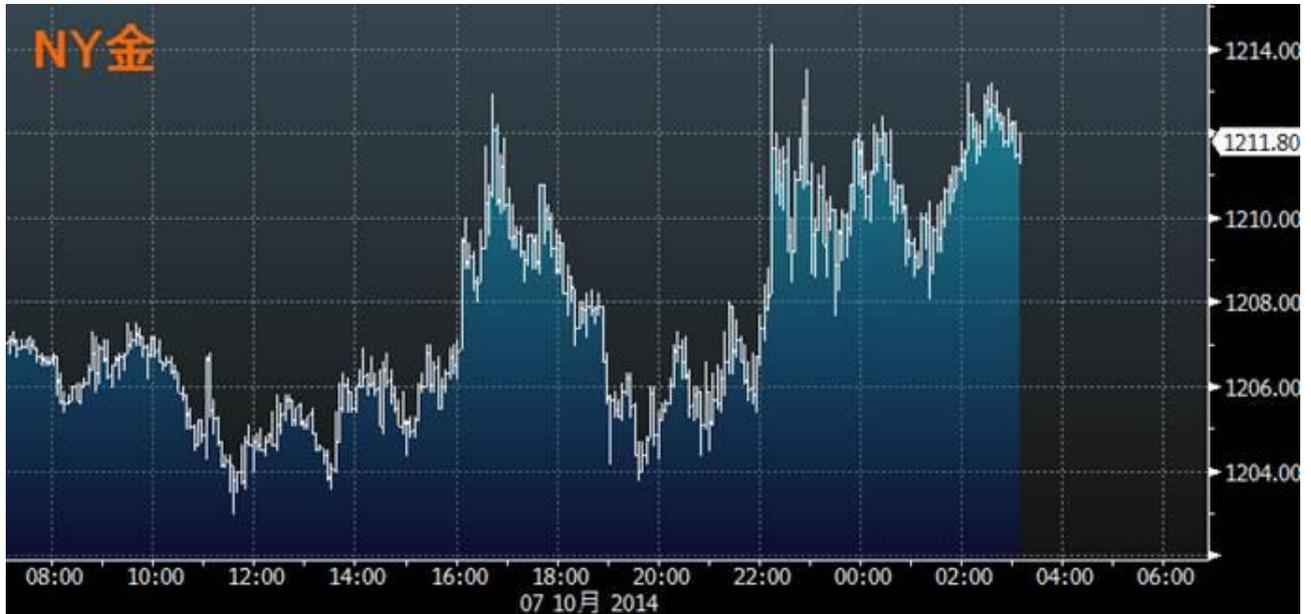
NY原油は、中心限月が前日比1.49ドル安の1バレル=88.85ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1212.40	+5.10
NY 原油	88.85	-1.49

(出所:SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、IMF が世界全体の経済成長率見通しを下方修正したことなどで世界景気の先行き懸念が強まり、比較的安全な資産とされる金の買いが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、IMF が今年と来年の世界全体の経済成長率予測を引き下げたことに加え、ドイツの経済指標が大幅に悪化したことから、世界景気の減速に伴ってエネルギー需要が落ち込むとの懸念が強まり、売りが優勢となった。終値ベースでは、2013年4月以来、約1年半ぶりの安値水準となった。



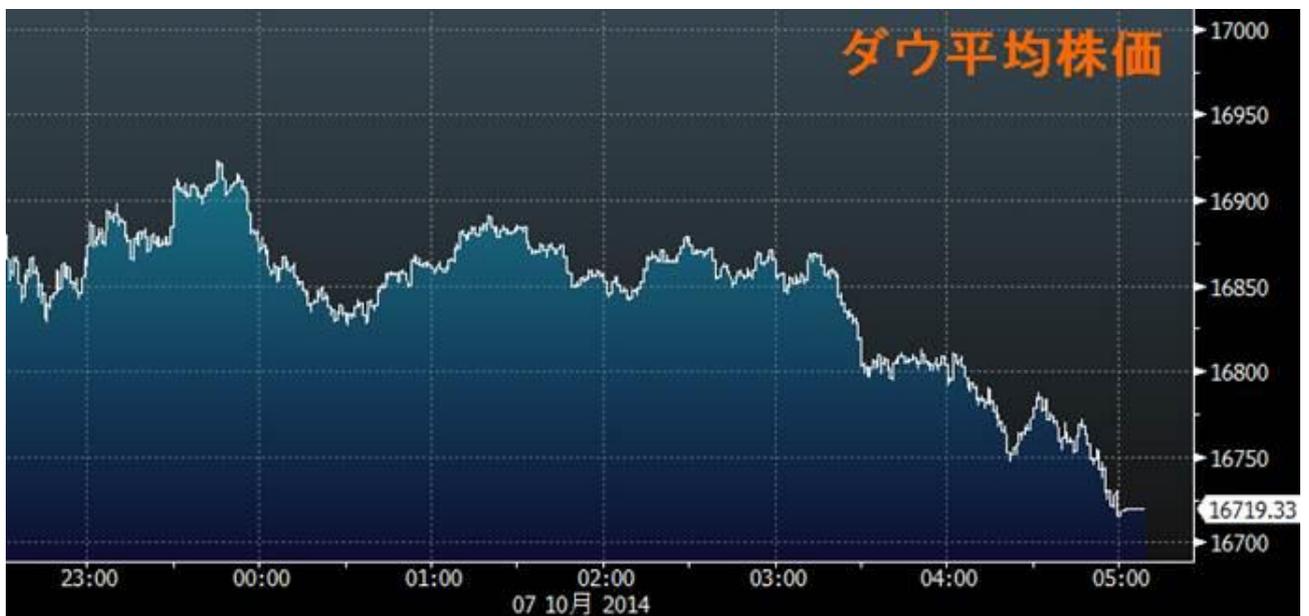
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16719.39	-272.52	16988.25	16715.79
S&P500 種	1938.09	-29.73	1962.36	1934.87
ナスダック	4385.20	-69.60	4441.76	4385.15

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、欧州経済の先行き不透明感を背景に、売りが先行した。その後は、割安となった銘柄を買う動きも出てやや値を戻す場面もあった。しかし、IMFが世界全体の経済成長率見通しを下方修正したことから、主要株価が大きく下落する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な展開が続き、終盤には一時前日比276ドル安まで下落する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	108.04	108.63	107.82
EUR/JPY	136.82	137.01	136.56
GBP/JPY	173.88	174.65	173.70
AUD/JPY	95.21	95.58	95.10
NZD/JPY	84.64	85.17	84.55
EUR/USD	1.2666	1.2683	1.2603
AUD/USD	0.8812	0.8833	0.8794

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、新規材料に乏しい中、欧米の株価下落を背景に、序盤からドル円・クロス円は軟調な動きとなった。そして、IMFが世界の経済成長率見通しを下方修正したことを受けて、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は終盤に一段の下げとなる場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。